

# 岩崎宏さんの歓迎会を開催

## 明るく楽しい会社にするため頑張る



# 国労仙台

No. 2575  
2010年2月15日  
発行責任者 橋本 昭二  
編集責任者 武田 昌仙



前列中央が岩崎さん。その後ろは兜森さん。

### 東北自動車支部定期大会

1月1日付で国労に加入した岩崎宏さん(48才)の歓迎会が、1月24日、第60回国労東北自動車支部定期大会に合わせてこくろう会館において開催された。

- 執行委員長 佐藤 浩一(福島)
- 執行副委員長 北山 修司(仙台)
- 書記長 安保 功彦(盛岡)
- 執行委員 浅利 功(盛岡)
- 小瀬川亮一(古川)
- 兜森 秀昭(仙台)

JRバス東北社員の国労加入は、08年12月に加入した兜森秀昭さんに続いて2人目であり、激励と歓迎のスピーチで雰囲気も大いに盛り上がった。

岩崎さんは「国労に加入して、明るく楽しい会社にするため頑張ります」と決意を述べ、参加者全員の拍手で団結を確認し合った。

岩崎さんは93年にJRバス東北青森営業所に採用され、以降14年間もの間、契約社員として勤務。その後「異動」を条件に正社員に採用となり、昨年3月に仙台市七北田営業所に配属された。国労加入のきっかけは、青森における国労の世話役を含めた付き合いと、職場実態を改善したいという、本人の強い意志によるもの。また大会では、長年に亘り組織の先頭に立って奮闘してきた大倉満委員長から、佐藤浩一「新」委員長へとバトンが手渡された。新役員は次の通り。

- 1. 26 団交(申1号 仙台駅構内労災死亡事故)
- 1. 28 「10総合車両センター関係業務改善」提案
- 1. 28 「駅業務委託の拡大について」提案
- 1. 29 第180回拡大中央委員会
- 1. 29 第95回婦人部地方委員会

### 地本組織対策会議から

#### 組織部報告

地方本部は、1月30日に組織対策会議を開催した。会議では、地方本部からの提起として、東日本本部組織部長である武田幸喜地本特別執行委員より、以下の報告がされた。

本対策会議では5年ぶりに分散会を実施したい。是非自分たちの課題を見つけてもらいたい。

2月1日の加入が予定されており、18ヶ月連続で加入をしている。他労組は出入りがあるが、国労は脱退がない。

JR東日本では1800名が採用、仙台支社には約100名が配属予定。JR貨物では130名が採用される見込み。

チャレンジサポーターの指定など、現場長への要請と働きかけを粘り強く行ってもらいたい。

併せて会社施設の利用も。秋田では、現場における食事会への参加を要請し「組合の話はしない」という条件付きで参加した。「まっさらな状態で新採者と接することができ、次へのステップに」と報告されている。継続して要請を判例により、時間外でも

- 1. 30 地本組織対策会議
- 1. 31 安全問題プロジェクト会議
- 2. 1 バス夏季ダイヤ提案
- 2. 4 第4回執行委員会・第2回闘争委員会
- 2. 7 第27回東日本本部拡大委員会

#### 職場からの報告

続いて東北自動車支部の浅利執行委員が、組織拡大についての報告を行った。自動車支部の現状。組織は17名で、7月に1名が若年退職の予定があり、今後退職が続き高齢化。エルダーもあるが、結局は減っていく。

新採者が入ってもすべて東労組へ。2種免許取得者が条件であるため、最低でも20歳「JR」というネーミングで、募集をかけるのと相当な数が集まってくる。

現在、仙台市交通からの業務を宮城交通と共に受託しているが、5年で終了予定。

定でその後の将来展望は不明。交渉相手は仙台市議会であり、市交通の政策委員である石川けんじ議員を窓口に通話をしている。

契約社員は一年契約であり、毎年不安である。

バス会社の訓練では経験年数によって時間が違い、東労組は勤務成績の事故、勤務態度をみて、「そろそろか」と会社ではなく組合が声をかける。

岩崎さんは平成5年から青森支店の契約社員を14年間も続けてきた。

白沢と七北田のバス業務受託に際して、「社員でないものが運転士では困る」という市交通の意向で社員化に。

東労組は諸手当の問題を組合員に明らかにせず、また採用に際しても、青森採用と白沢採用では単身赴任旅費や地元へ帰る問題も含め条件が違い、多くの差別がある。

岩崎さんの採用当時は、5名の国労組合員があり、組合員と輪を作っていた。東労組とは腹を割った会話がいかに辛かったとも。

七北田の労働条件では、国労が来たから「ダイヤが変わったね」という話が出てきており、国労に相談が持ちかけられている。

この間、後何年か無事に過ごせれば良いかな、とい



う気分になって行いたが、若い人に我々の知識を置いていこうという気持ちに変化してきた。

様々な事柄に適した人材がいて、組合だけでなく人間関係や趣味、いろいろな関わり方がある。役員達の役割、任務分担をしっかりとやりきることではないか。

出向社員の任務。社員がひどい状態で働かされている。頼られており、頼りにされなければならぬ。

様々な取り組みがあり、知恵を絞るしかない。そのため議論は不可欠。福島の場合など、不当なやり方に対しては組織として闘うことが必要であると感じている。

## 郡工部機関紙が二〇〇号達成

### 三年前から 毎週定期発行

郡山工場支部の機関紙「郡工情報」が1月20日付けで、発行200号を達成した。同紙は三年前から週刊化を執行委員会に決定し、以降継続発行し続けている。

記念号では執行部のコメントが掲載されているので紹介する。

郡山工場支部の機関紙「郡工情報」が1月20日付けで、発行200号を達成した。同紙は三年前から週刊化を執行委員会に決定し、以降継続発行し続けている。

記念号では執行部のコメントが掲載されているので紹介する。

郡工情報の一〇〇号達成を振り返って。執行委員会が週一回の発行を決めました。当初、私には大変難しい事だと思いましたが、執行委員の頑張りで達成することができました。皆さんの力を頼りにしながら、これからも続けていきたいと思えます。

【橋本守弘】

200号の記念すべき時に、情報をつくる担当になったことを、とても嬉しく思っています。

一つの事を長い間続けていくことは、簡単に見えて、実は大変なことだと思います。多くのことを望まないで、これから

国労郡工支部の機関紙として一番先に思い出すのは、「青年部ニュース」のことです。B5版のガリ版刷り。毎日発行でした。昼休み食堂で配布す

200号の記念すべき時に、情報をつくる担当になったことを、とても嬉しく思っています。

一つの事を長い間続けていくことは、簡単に見えて、実は大変なことだと思います。多くのことを望まないで、これから

## 婦人部が定期委員会

1月30日、第95回国労仙台地方本部婦人部定期委員会がこくろつ会館において開催されました。

委員会には地方本部橋本委員長、本部加藤婦人部長、東日本本部佐々木婦人部長、地方本部家族会の眞屋会長

が見えられ、それぞれ挨拶を頂きました。

委員会では、「婦人部でも一昨年から定年退職者が出ており、昨年には初めてエルダーが。しかし職場の選考を始め、賃金・労働環境など課題が多い」「エル

【千葉秀治】

文章がすらすら書けるようになったら、みんな今ごろ、工場勤めはしていないと思います。その私たちが支部機関紙発行を2年以上も継続しているのは我ながら表彰モノだと思います。組合員の皆さんが知りたいことや、役に立つことを記事にしなければと、常に心掛けているつもりなのですが、現状はまだまだであり、精進しなければと、200号を機に、心新たにしている次第です。

提案されている新たな外注化については、車両の安全と私たちの労働条件を守るため、協力会社の労働条件改善のため、そして遠距離配転者を郡総に戻すために、なんとかしても阻止しなければなりません。そのための「紙の弾丸」としてこの「郡工情報」を有効に活用していきたいと思っています。

【橋本光一】

支部執行委員持ち回り、責任を持って発行するということが始まった。郡工情報週刊定期発行。最初は、本場に続けられるのか心配でしたが、なんと東日本本部で最優秀賞を、2回ももらったことが出来ました。頭を悩ませ、プレッシャーを感じながら、遅れても休まずをモットーに頑張っています。自身はいつも満足とは行きませんが、組合員に親しまれる機関紙を目指したいと思っています。今後、もっともよく願います。

【本田要一】

私も執行委員となり3年目を迎えます。主に業務を担当して、団交の経過などを記事に載せましたが、記事の担当の週になると、文章にするのに苦労します。

組合員の声を今後は載せたいと思っています。国労は、安全総点検を継続しています。メモ活動を現場の実態を知らせるとともに、組合活動を活性化していきます。よろしくお願

【阿部政雄】

ダが増加することで職場の正社員の減少と非正規労働者の増加により、職場が非正規労働者だけになってしまつてはならないかという不安がある。「若い女性社員は、JRの『男社会』の中で、仕事や人間関係のストレスやパワハラ・セクハラ、第三者加害などにより、心の病に陥り体調を崩すなど、結果として退職に至るケースが増加している」等の意見が出されました。

集約として、職場での日頃の世話役活動など、自分達で出来る取組みを強化し、一人でも多く、組織拡大につなげる。

また年齢や性別の区別なく、共に働きやすい職場作りを努めること。更に不採用問題の早期解決に向け共に闘うことを全体で確認しました。

委員会終了後には、1月末に退職を迎える、工藤さんの送別激励会を開催し、会には前婦人部長の菅原芳子さんにも参加して頂きました。

自動車支部において、不当配転の裁判闘争を闘った工藤さんは「国労にいたか

ら頑張れた。国労で良かった。」と、これまで支えてもらった仲間の方々に感謝の言葉を述べられました。

【婦人部発】

宮城県支部東北工務事務所分會では、旗開きにおいて毎年恒例の川柳大会が行われている。機関紙「るばる」より、上位入賞作品を紹介する。

### 職場の部

金賞 最後は個人のせいにする (いつもの責任転嫁)

銀賞 賃下がり 妻の小言が 耳を刺す (55歳)

あぐせくと ゆとりの無さが 事故まねく (工事監督者)

チェックリスト 本業よりも 幅寄せ (一課員)

責任は 持たず今日も カバン持ち (スリ寄り中園管理職)

チェックリスト 訳が分からず しるし付け (赤ペン先生)

外注化 安全技術 どこへ行く (も) (第一主義)

三十五年 貰ってみたが 空手です (ホルモンの口)

得喪の チェックリスト 多すぎる (特別清掃人)

金賞 二つかけが 事業は分けて 減される (かわいそつなさん)

銀賞 湯上りで 生か飲みたし 発泡酒 (酒好きエルダー)

派遣切り 切つたあとから 再募集 (仁義無き大企業)

銀賞 エコカーも 買えるわけない 低賃金 (エルダー)

年明けて 出勤せれども 机なし (リストラ化)

退職のお知らせ 1月31日

佐藤 正義さん 新庄連合

駒込 修さん 仙台保健区

青田 富男さん 岩沼駅連合

出光 博明さん 仙台建築区

生田 目光一さん 郡山駅連合

加藤 和幸さん 貨物宮城

安藤 忠広さん 郡工支部装置科

工藤 良子さん 自動車支部青森県

長い間お疲れ様でした

役員体制

婦人部長 佐藤 歳子 郡山駅連

副婦人部長 三上 敦子 仙台病院

常任委員 真砂 久子 仙台駅連

富田 啓子 仙台病院

横山 幸子 福島駅連

斎藤志津子 郡山駅連

職場以外の部

金賞

減される (かわいそつなさん)

湯上りで 生か飲みたし 発泡酒 (酒好きエルダー)

派遣切り 切つたあとから 再募集 (仁義無き大企業)

銀賞 エコカーも 買えるわけない 低賃金 (エルダー)

年明けて 出勤せれども 机なし (リストラ化)

退職のお知らせ 1月31日

佐藤 正義さん 新庄連合

駒込 修さん 仙台保健区

青田 富男さん 岩沼駅連合

出光 博明さん 仙台建築区

生田 目光一さん 郡山駅連合

加藤 和幸さん 貨物宮城

安藤 忠広さん 郡工支部装置科

工藤 良子さん 自動車支部青森県

長い間お疲れ様でした